

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒261-0014  
千葉県千葉市美浜区若葉1丁目3番地

E-mail : kokusai@shibumaku.jp  
 Website : http://www.shibumaku.jp/

児童生徒数：男子 1367 名 女子 568 名 合計 1935 名  
 児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( ESD 活動 )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ①ユネスコスクール世界大会参加

本年度は、ユネスコスクール世界大会が岡山で開催され、千葉東高校・佐倉南高校・市川高校とともに本校も参加した。千葉県ユネスコスクール10校では、世界大会に参加する外国チームのうち南アフリカ、ベトナム、ニュージーランドの3カ国のホストを行った。世界大会前日の11月4日に千葉県知事表敬訪問後に本校第二啓発室にて歓迎会が開催された。本校の高校一年の吉村真紀さんと柗木響木君のバイリンガルによる進行で縁日形態による飴細工や祭り寿司などの日本文化の紹介、最後にソーラン節で締めくくった。昨年度から企画運営に関する会議を繰り返し、千葉県ユネスコスクール間での連携がさらに深まった。

UNESCO ASPnet International ESD Events for Students and Teachers は、日本がユネスコで10年前に提唱したESD（持続可能な発展のための教育）の最終年を記念して11月5日～8日の日程で、海外31か国、国内9地域からの生徒と教員を集めて、岡山駅前のホテルグランヴィア岡山で開催された。高校生フォーラムでは、日本を含む31か国から集まった4人一組の高校生40チームがESDに必要な取り組みについて発表した。千葉県チームは「おもてなし」をテーマに、その例をあげながら海外からの生徒にもわかりやすく解説し、その精神に一步踏み込んだ内容のある発表であった。

6日、各チームの発表は、40チームのメンバーがそれぞれ4会場に分かれ、自分たちの発表のときにはその会場を抜け出し、各会場でプレゼンテーションをするという形式で始まった。その後2会場に分かれ、テーマA What factors do you believe obstruct sustainability in everyday life and society?とテーマB What is important when promoting sustainability?というテーマで分科会、翌日の7日に全体会にてまとめを行なった。分科会では途中で意見がまとまらず、会議の進行が停滞するなど高校生らしい場面もあったが、宣言文も無事採択することができた。本校高校一年の吉村真紀さんは千葉県の代表として宣言起草委員として宣言作成に携わり活躍した。

### ユネスコスクール世界大会にむけての取り組み

- ・第3回ユネスコスクール世界大会企画運営会議 6/25 市川学園高校
- ・ユネスコスクール世界大会派遣生徒の事前研修 8/6 千葉県立千葉東高校
- ・第4回ESD世界大会準備セミナー 8/10～11 ホテルグランヴィア岡山等
- ・千葉県高等学校ユネスコ会議参加の生徒教員千葉市長表敬訪問 7/24 千葉市役所
- ・第4回ユネスコスクール世界大会企画運営会議 8/28 渋谷幕張高等学校
- ・第5回ユネスコスクール世界大会企画運営会議 10/17 渋谷幕張高等学校
- ・ユネスコスクール千葉受け入れ校の歓迎会 11/4 渋谷幕張高校
- ・世界大会に向けての千葉県知事表敬訪問 11/4 千葉県庁
- ・ユネスコスクール世界大会 11/6～7 ホテルグランヴィア岡山
- ・ユネスコスクール全国大会 11/8 岡山大学

### 千葉県ユネスコスクールでの活動

第5回 千葉県ユネスコスクール研究会兼第4回千葉県高等学校ユネスコスクール研究会参加 (8/25 千葉県立千葉女子高等学校 文化ホール)

## ②国際理解・異文化理解

### ・校外研修及び海外研修

ESDに対する本校の取り組みは、様々な角度から行っている。高校三年を除く学年で毎年実施されている校外研修もその一つである。全員が参加する行事としては、野田研修（中1）、鎌倉研修（中2）、信州研修（中3）、奈良修学旅行（中3）、ニュージーランド研修（中3）、広島研修（高1）、中国あるいは九州への修学旅行（高2）がある。

中学一年で実施される野田研修は、本校に入学して実施される最初の研修である。千葉県 の 地場産業であり、日本の食文化を代表する企業であるキッコウマンや上花輪歴史館などがある野田の地域学習である。さらに本校の建学の精神である「自調自考」を現地集合・現地解散を通して身につける場でもある。学校に集合して、何となく連れて行かれるのではなく自ら行程を考えて行動することがその後の自信にもつながる。航空機を利用しての研修では空港までであるが、それ以外の研修はすべてこの精神が受け継がれている。鎌倉研修や奈良研修は日本文化の理解、広島研修は平和教育としての側面を持つ。

ニュージーランド研修・中国修学旅行など学年行事以外にも、希望者によるアメリカ研修、ハーバード研修、イギリス研修、北京研修、ベトナム研修、シンガポール研修などの短期海外研修を実施している。海外の生活体験や文化交流・国際交流を通して取り組みを続けている。今年度は文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受け、短期海外研修は充実した内容になった。従来型の研修に加え、本校のSGHの課題研究テーマである「食」についての巡検を中心としたSGH海外研修を北京（12月）、シンガポール（3月）、ベトナム（3月）で実施している。

### ・海外からの生徒受け入れ

短期ではニュージーランド53名（9月）、シンガポール7名（9月）、北京8名（2月）の生徒を受け入れた。長期ではブラジル2名、アメリカ1名、オランダ1名、ドイツ1名を受け入れている。

### ・中東異文化交流会（9月）

中東の学生7名を招き中東の文化やハラルフードの紹介および交流会を行った。

### ・第二外国語教育

希望者を対象に放課後講習（中国、フランス、ドイツ、スペイン、ハンブル）

## ③生徒の海外派遣

### ・模擬国連活動

5月にはニューヨークで行われた高校模擬国連国際大会では本校代表のチームが人権理事会部門会議において日本代表団初となる最優秀大使賞を得た。また11月には全日本高校模擬国連大会が国連大学にて開催され、本校は2007年度より8年連続出場となった。

### ・高校生カンボジアスタディーツアー（日本ユネスコ協会主催）8月 生徒1名派遣

### ・読売新聞ティーン特派員 エネルギー問題をテーマとしたマレーシア派遣（8月）

およびティーン未来フォーラムでの提言（12月、読売大手町ホール）

### ・ACCU 韓国政府日本教職員招へいプログラム 韓国への教員派遣（8月）

④生徒会・部活動による募金等の社会貢献活動

- ・文化祭ボランティア団体の収益金寄付（エボラ出血熱救援金として日本赤十字社へ）
- ・エコキャップ活動（ペットボトルキャップ回収しを途上国の子供のワクチン購入に当てる支援、ワクチン 268 人分相当を回収）
- ・ベルマーク活動
- ・ペーパーリサイクル運動
- ・書き損じ・使い残しはがきチャリティ（インターナショナルサークル）
- ・チャリティーコンサート、障害者施設訪問コンサート、小学校訪問コンサート（吹奏楽部）
- ・老人ホーム訪問コンサート（合唱部）

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）